

(様式 7)

公共事業継続箇所評価調査

評価確定日 (平成 30 年 9 月 28 日)

事業コード	H30-建-継-08		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業 (改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	二次改築 (現道拡幅)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道 107 号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	由利本荘市鶴舞 (本荘道路)		担当者名	主幹 (兼) 班長 太田 哲
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標 (指標) 名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H38 (28年)	総事業費	115.3 億円	国庫補助率	0.5950	
事業規模	○延長L=2,000m、幅員W=13.0(25.0)m (4.5+0.5+6.5+2.0+6.5+0.5+4.5)m					
事業の立案に至る背景	○一般国道107号は、岩手県大船渡市を起点に本県由利本荘市に至る幹線道路であり、日本海側と太平洋側を結ぶ、産業、経済の交流に重要な役割を果たしている路線である。 ○当該区間は渋滞対策区間となっている。 ○日本海沿岸東北自動車道「本荘IC」がH19年9月17日に開通し、本荘市街と高速交通拠点のさらなるアクセス強化が図られる。					
事業目的	○中心市街地の活性化 (混雑度 1.89 の解消) ○物流の効率化の支援 (本荘IC) ○日本海沿岸東北自動車道「本荘IC」へのアクセス機能強化 ○安全な生活環境の確保					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		11,000,000	11,530,000	530,000	
	経費内訳	工事費	3,286,145	3,816,145	530,000	資材、労務費の増
		用補費	6,851,950	6,851,950	0	
		その他	861,905	861,905	0	
	財源内訳	国庫補助	7,700,000	6,860,350	▲ 839,650	国庫補助率の変更による
		県債	2,970,000	4,202,600	1,232,600	
その他						
一般財源	330,000	467,050	137,050			
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工				
事業の進捗状況	○平成29年度末で事業進捗率77% (用地進捗率は64%)。 ○平成28年11月29日に御門交差点から国道105号交差点までの約1km間を部分供用開始。					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○由利本荘市総合計画 ○由利本荘市地域公共交通網形成計画					
情勢の変化及び長期継続の理由	○日本海沿岸東北自動車道 (岩城IC~国道7号) H19.9.17供用開始 " (国道7号~金浦IC) H24.10.27供用開始 (金浦IC~象潟IC) H27.10.18供用開始 ○H28「鳥海山・飛鳥」日本ジオパーク認定					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	改良率 (県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	94.1 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	93.8 %		把握の時期	平成30年 4月	
達成率 b/a	99.6 %					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次緊急輸送路であり、他に競合する路線が存在しない。 ○当該路線は通学路指定区域であるが、事故率127件/億台kmと高くなっているため早急な改良が必要である。また、混雑度1.89を解消するためにも改良が必要である。 	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○国道107号は県土の骨格を形成する道路ネットワークとして、重点的に整備を進めており、日本海沿岸東北自動車道が象潟ICまで延伸したことで更に利便性が高まることから、早急に整備を行うこと必要である。 	10点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次緊急輸送道路であり、災害時の避難救助活動や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画重要な幹線道路である。 ○日本海沿岸東北自動車道の本荘ICアクセスに直接寄与する路線であることから、整備による機能強化が期待される。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は1.53であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 218.5億円 ・総費用の現在価値 143.3億円 ○計画交通量は16,400台/日である。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年11月までに約1km間を部分供用済み。 ○平成29年度末の事業進捗率は77%である。 	16点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	84点
	有効性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

<p>コスト縮減に努めながら、事業を継続する。</p>

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード (H30-建-継-08)
箇所名 (由利本荘市鶴舞)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	8	-	2次改築事業については該当しない。	
			2箇所	5			
			1箇所	3			
			0箇所	0			
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> 現道の混雑度≥ 1.0 現道の旅行速度$\leq 30\text{km/h}$ 現道の事故率≥ 50件 通学路指定で歩道なし 重大交通事故が発生 	5件該当	15	10	現道の混雑度 ≥ 1.0 現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$ 現道の事故率 ≥ 50 件 計3箇所	
			4件該当	12			
			3件該当	10			
			2件該当	8			
			1件該当	4			
			該当項目なし	0			
			計	15			10
	緊急性	道路をとりまく環境等					
		関連事業の有無	<ul style="list-style-type: none"> 県の主要プロジェクト 地域振興プロジェクト ほ場整備等の他事業 	あり	10	10	由利本荘市総合計画 由利本荘市地域公共交通網形成計画
なし				0			
緊急度の高い課題の有無	<ul style="list-style-type: none"> 老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等 	あり	5	0			
		なし	0				
		計	15			10	
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路		第1次輸送路	10	8	第2次緊急輸送路	
			第2次輸送路	8			
			第3次輸送路	6			
			指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	10	10	由利組合病院	
			間接的に補完する	6			
			アクセスへの貢献は小さい	3			
	社会変化による事業の必要性		必要性が高い	10	10	日沿道 金浦ICから象潟IC間H27供用	
低下傾向			6				
必要性が低い			3				
計			30	28			
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	5	5	B/C=1.53	
			1.0未満	0			
	計画交通量		5,000台/日以上	5	5	16,400台/日	
			1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
			1,000台/日未満	0			
	コスト縮減		あり	5	5	橋梁から函渠へ構造変更	
			なし	0			
	事業中止による影響		既投資額の損失大	5	5	事業進捗率77%	
			既投資額の部分的損失	4			
既投資額の損失が少ない			3				
計			20	20			
熟 度	事業の進捗進捗状況						
	事業の進捗 (事業費)		8割以上完了	10	8	77%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
	用地買収の進捗 (面積)		8割以上完了	10	8	64%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
未着手			0				
計			20	16			
合計				100	84		

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		